

「環境林業」を担う人材の育成

活動地域  富山県南砺市利賀村



いざ、春の森へ！森の暮らし塾スタート！！

課題

富山県南砺市利賀村は、合併後、人口が約500人に半減。豊かな森林地域だが、多雪のため真直ぐなスギが育たず、地域資源である森林を活用した地域活性化が長年の課題。

目標

TOGA森の暮らし塾を開講し、「環境林業」を担う人材を育成することで、森林の持続的利用ができる移住者と林業従事者等を増加させ、持続可能な地域社会の構築を目指す。

活動内容と成果

森を見る、使う、暮らすチカラを習得し、環境林業を担う人材を育てるTOGA森の暮らし塾を2020～2021年に通年で開講した。試行した2018年以降、6人が利賀村へ移住。また、6人が林業に就業した。修了生の多くは2年生（専攻科生）として受講を継続。知識と技術の向上を図りつつ、スタッフとして運営にも関わる体制ができてきた。県内在住で仕事をしながらの受講者も、修了後利賀村に通っての活動を希望するなど、交流人口としての関係性が継続されている。本活動から派生した自然保育が市の事業として継続している。



製作中の軽トラハウス！成果発表会で披露！

ひろげる助成

3年目

知識の提供・普及啓発

TOGA森の暮らし
塾講座参加者数

99人

スキルアップ講座
開催数

6回

今年度計画の達成度

100%

目標達成度

100%

苦労した点と工夫した点

■苦労した点

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、昨年度塾生募集の重要な場だった移住イベントが中止、リモート化されて募集に苦労した。また、塾生同士の懇親の機会が減りチーム作りが難しかった。

■工夫した点

日程を金～日から土日開催に変更。これにより、県内在住者が働きながら参加しやすくなった。また、講座中の塾生の発言機会を増やすことで、コミュニケーションを促した。



森を知る！「森林調査実習」

全助成期間の活動を振り返って

TOGA森の暮らし塾を通年で2年実施、今年は、基礎講座に延べ99人、オプション講座に延べ114人が参加。ガラス作家との森とガラスの講座等、様々な団体との協力事業にも70人の参加を得た。利賀村という小さな過疎の山村に多くの参加者を得、一昨年は、本郷林野庁長官の来訪も実現。少しずつ、確実に、目標に近づいていると感じる。「環境林業」の実績を挙げ、オルタナティブな選択肢として確立していきたい。

〒939-2512
富山県南砺市利賀村上百瀬51
電話：0763-68-2177
E-mail：moribio@hotmail.co.jp
HP：https://www.moribio.com/



今後の
展望

活動フィールドであるロンレー・エリアや、利用について打診のあった地域の共有林において、現有のスギ林についても有効利用を図りつつ、近年、問い合わせなどが増えている飲食店や薬品会社などの異業種の方々とも丁寧に関連し、広葉樹や下層植生の利用による収益性向上に努めていきたい。同時に、利用可能な資源の量を生態系保全の視点から提示しつつ、天然更新技術の確立など、将来的には恒続林の育成につなげていきたい。